

## 第 17 回・多摩デポ講座

# 図書館はどのような本を所蔵しているか

-2006 年上半期総刊行書籍を対象とした包括的所蔵調査から-

昨年 9 月、図書館蔵書の傾向について、大きな視野から注目すべき共同研究が発表されました。講師の大場氏らは、2006 年上半期の刊行書籍について、日本の公共・大学・国会図書館の所蔵傾向を出版点数と需要を軸に比較、絶版や「選定図書」の所蔵率も調べ、そこから見えるものを考察しました。

全国公立図書館の蔵書の集合を分析すると、国会図書館蔵書に準じるような高い網羅性があることがわかりました。大学図書館のカバー率よりはるかに高いのです。この年だけの現象でしょうか。「金太郎飴」「安い本ばかり」と揶揄される一方、良書主義が批判される公立図書館蔵書の多様性、網羅性。資料選択論に「網羅性」という新たな視点が登場しました。そこからどんな選書論、活用方法、政策が導けるのでしょうか？

全国を横断検索してリクエスト本を探す相互貸借の有効性の根拠、図書館が広域的に共同保存し、蔵書で助け合う可能性の議論にも直接つながる、大変面白いお話です。

### 7月17日（水） 午後6時30分～9時

講師：大場 博幸氏（文教大学文学部准教授）

会場：国分寺労政会館 地下1F 第1会議室

（国分寺駅南口 徒歩5分）

国分寺市南町3-22-10

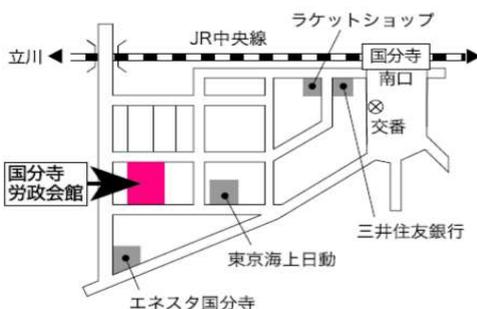
TEL：042-323-8515

参加費：500円

定員：50人（事前申し込み優先） 申し込みはメールかFAXで

主催：NPO法人共同保存図書館・多摩

—NPOの会員でなくても、どなたでも参加できます—



大場博幸（おおばひろゆき）氏プロフィール

2002 年慶應義塾大学文学研究科図書館・情報学選考博士後期単位取得満期退学。文教大学文学部准教授。

【論文】

大場 博幸, 安形 輝, 池内 淳, 大谷 康晴「図書館はどのような本を所蔵しているか：2006 年上半期総刊行書籍を対象とした包括的所蔵調査」日本図書館情報学会誌 58 巻 3 号（通号 191）：2012.9 p.139-154  
ほか多数

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP：http://www.tamadepo.org/ ●E-Mail：depo\_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX：042-484-3945（不在が多いので留守番電話かFAXでお願いします）